

# 『社会科学ジャーナル』原稿執筆要項

《原稿執筆について》以下の要項にしたがって、原稿の執筆をお願いします。

## 字数制限

- 論説は、和文の場合は20,000字以内、英文の場合は6,000 words以内とする。本文のほか、論説題目、執筆者氏名、注釈、図表、参考文献リスト等すべてをこの制限字数以内に収めること。ただし、要旨は字数制限に含めない。
- 研究ノートは、和文の場合は12,000字以内、英文の場合は3,600 words以内を目安とする。本文のほか、論説題目、執筆者氏名、注釈、図表、参考文献リスト等すべてをこの制限字数以内に収めること。ただし、要旨（下記参照）は字数制限に含めない。
- 目安として、図表は、1ページ分（横11.4センチ、縦17センチ）が1,000字（和文）/310 words（英文）に相当するものとする。

## 要旨

- 論説と研究ノートには英文要旨（600 words以内、表題を含む）を提出してください。  
※ 社会科学ジャーナルには英文要旨が掲載され、社会科学研究所のホームページに全文が掲載されます。

## ページ番号

- ページ番号は、全ページに通しで付ける。

## 項目番号

- 章、節などの項目は以下の記号を用いて表示する。
  1. （章：ローマ数字にピリオド。）
  1. （節〔上位〕：算用数字にピリオド。）
  - (1) （節〔下位〕：両括弧付き算用数字。）

## 注釈・参考文献

- 注釈・参考文献は下記《注釈・参考文献の書き方》に詳述する書式（APA Style）に沿って作成してください。詳細は本要項の《注釈・参考文献の書き方》を参照してください。

## 図 表

- 図・表等はなるべく印刷される原稿に近いかたちで本文中に挿入する。
- 図表の大きさは、出典情報などを含め最大で、横 11.4 センチ、縦 17 センチ以内に収めること。
- 引用した図表には、出典情報を付記すること。

## その他

- コンピューターで入力できない特殊な文字・記号・数式等は原稿に赤字で直接手書き記入する。

### 《原稿提出について》

提出の際には Microsoft ワードファイルを添付し、E メールで提出してください（ssri@icu.ac.jp 宛）。提出された原稿とメディアは返却いたしません。下記の 5 点を必ずご確認ください。：

1. メールには名前と所属を記載してください。短い自己紹介と所属を原稿に含めてください。
2. 当研究所で編集後、原則として 1 回著者校正を依頼します。詳しい日程などについては、後日通知します。
3. 提出された原稿、メディア、及び初校・再校原稿は、原則として 5 年間当研究所にて保管します。
4. 投稿は、英語または日本語で、適切に引用されている必要があります。適切な英語または日本語の文法、検証可能な出典の引用、誤字脱字への最低限の注意も重要です。
5. なお、引用規則に則って原稿を書き、すべての参考文献を記載し、（必要に応じて）関連文書を添付することは、著者の責任であることをご了承ください。

### 《注釈・参考文献の付け方》

論文の注釈・参考文献の表記方式は、APA Style に基づいて作成してください。なお、表記例は、下記の順に示されています。

## <注釈・参考文献の作成手

### 順および表記例>

## APA Style

原稿に情報を追加するために注を使用する場合は、文末注ではなく脚注をつけること。参考文献は脚注の中に含めるのではなく、本文の参考文献の箇所に別途含めなければならない。

原稿の中に出典を引用する際は、本文に著者及び著作が出版された日付を含めること。(表記例は下記を参照。)

参考文献リストは、原稿の最後に記載する。原則として、本文中に引用する出典は全て、参考文献リストに提示すること。参考文献リストを準備する際の詳細に関しては、以下の節を参照のこと。

### 1. 本文中での出典の引用法：

#### 1.1. 単独著者によって書かれた文献の引用：

- ▶ 以下の最初の例のように、著者の氏名を記載する場合、その直後に括弧を付け出版年を入れること。もしくは、(二番目のように)名前と出版年をコンマで区分し、括弧でくくること。

Doeppers (1984) によればマニラでは……

or

……マニラでは……と推定する研究者もいる (Doeppers, 1984)。

#### 1.2. 複数の著者によって書かれた文献の引用：

- ▶ 二人の著者によって書かれた文献を引用する場合、テキストの中で参照する際は両者の名前を常に引用すること。

Ryan and Deci (2000) のレビュー論文によれば…

or

最近のレビュー論文 (Ryan & Deci, 2000)によれば…

- ▶ **3名から5名の著者によって書かれた文献の場合：**最初の引用では著者全員を引用すること。それ以降の引用では、第一著者の姓のみを記載し、それ以降は“et al”をつけること (alの後に年号をつける)。

[最初の引用] Dweck, Mangels, and Good (2004) によれば…

[それ以降の引用] …とDweck et al. (2004) は主張する。

- **6名以上の著者によって書かれた文献の場合**：第一著者の姓だけを記載し、それ以降は“et al.”をつけること（al.の後に年号をつける）。参考文献リストには著者全員の名前を含めること。

### 1.3. 著者が組織名の文献の引用：

- 著者である組織の名前を最初に引用する際は、つづりを省略せず正式名称を記載すること。それ以降は、省略形で表すことも可能（名称を省略するかどうかの判断は、読者が参考文献リストで該当する項目を容易に見つけるために十分な情報を提供する必要がありますという一般原則に従うこと）。参考文献リストには、正式名称を記載すること。

[最初の引用] (American Psychological Association [APA],2009)

[それ以降の引用] (APA, 2009)

## 2. 参考文献リストの作成法

### 2.1. 基本ルール

- 原則として、テキスト内で引用される出典は全て、参考文献リストに記載すること。<sup>1</sup>
- 参考文献は、第一著者の姓をアルファベット順で並べること。
  - 同一の著者による複数の著作を引用する場合、上から年代的に古い順から並べること。
  - 単独の著者による著作は、複数の著者を持つ著作で第一著者が同じ名前の場合、単独のものを先に記載すること。例えば、“Bandura, A. (1977)”は、“Bandura, A., Ross, D., & Ross, S. A. (1961)”よりも前に記載すること。  
Bandura, A. (1977)....  
Bandura, A., Ross, D., & Ross, S. A.(1961)....
  - 最初の著者が同じで、二番目の著者が異なる著作の場合、二番目の著者の姓のアルファベット順で記載すること。第一著者と第二著者が同じで、三番目の著者が異なる場合は、三番目の著者の姓のアルファベット順で記載すること。
  - 同じ発行年で同じ著者の文献は、括弧の中に出版年を入れ、それに続きタイトルのアルファベット順に並べる。<sup>2</sup>  
Baheti, J. R.(2001a).Control...  
Baheti, J. R.(2001b).Roles of...

<sup>1</sup> E メールや書簡のように広くアクセスできない原典からの情報は、参考文献リストに含めない。詳細は、the *Publication Manual of the American Psychological Association* を参照。もしくは、APA 著『APA 論文作成マニュアル』医学書院の p.175 の「私信」の項目を参照。

<sup>2</sup> ただし、文献がシリーズもの場合は、シリーズ順に a, b, c...をつけること。

## 2.2. 書籍の引用：

- 基本形としては以下の例を参照。

Doeppers, D. F. (1984). *Manila, 1900-1941: Social Change in Late Colonial Metropolis*. New Haven, Connecticut: Yale University Southeast Asia Studies Monograph Series.

- 段落は第 1 行目の頭だけを出して 2 行目以下は下げて組むこと。
- 著者の姓が最初に来て、その次に名前、ミドルネームのイニシャルが続く。  
この様式は、二番目以降の著者にも適用される。
- 出版年が続き、それをカッコで括弧すること。
- 本のタイトルはイタリックにすること。本のタイトルの最初は大文字にすること。
- 最後に、出版地、コロンを挟んで出版社名を書く。（出版地：出版社。）

## 2.3. 定期刊行物の論文の引用：

- 基本形としては以下の例を参照。

Bruner, J. S. (1942). Of psychological writing: Being some valedictory remarks on style. *Journal of Abnormal and Social Psychology*, 37, 52-70.

- 基本的に書籍の一覧表作成の場合と同様だが、相違点は以下の通り。
- 論文のタイトルをイタリックにはせず、最初の単語のみ大文字にして、それ以降の単語は小文字で記載すること。例外として、上記の例にあるように、コロンの後は大文字で始める。
- 定期刊行物のタイトルはイタリックにして、文字の最初を大文字にすること。論文が掲載されている定期刊行物の巻とページ番号を記載すること。
- 出版社情報は含めなくて良い。ただし、定期刊行物の発行部数が限られている場合は、出版社情報を含めることが望ましい。

(例) “*Journal of Social Science* (International Christian University), 54...”

## 2.4. 書籍の中の章の引用：

- 基本形としては以下の例を参照。

Zimmerman, B. J., & Schunk, D. H. (2004). Self-regulating intellectual processes and outcomes: A social cognitive perspective. In D. Y. Dai & R. J. Sternberg (Eds.), *Motivation, Emotion, and Cognition* (pp.323-349). Mahwah, NJ: Lawrence Erlbaum Associates.

- 基本的には、書籍の一覧表作成の場合と同様だが、相違点は以下の通り。
- 章のタイトルはイタリックにはせず、最初の単語のみ大文字にして、それ以降の単語は小文字で記載すること。例外として、上記の例にあるように、コロンの後は大文字で始める。
- 章タイトルの後に編者の名前を載せること。イニシャルの個人名とミドルネームが最初に来て、その後に姓がくる。
- 書籍のタイトルはイタリックにして、各単語の最初の文字は大文字にすること。章が掲載されているページを記載すること。

## 2.5. オンライン上の文書の引用：

- 基本形としては、以下の例を参照。

American Psychological Association (2009). *Learning APA Style*. (July, 2009).  
Retrieved October 1, 2009, from <http://www.apastyle.org/learn/index.aspx>

- オンライン上の文書のタイトルはイタリックにすること。
- 可能なら文書が公表された日付を記載すること。
- インターネット・アドレスとアクセスした日付の記載を忘れないこと。 インターネット・アドレスを記載する際に、最後にピリオドをつけないこと。

※その他の APA Style の詳細に関しては、***Publication Manual of the American Psychological Association*** を参照してください（ほとんどの大学の図書館で利用できます）。ウェブサイト“Learning APA Style”も、チュートリアルを掲載しています。

2021 年 6 月改定